

日本司法福祉学会 第20回全国大会〔鈴鹿大会〕
プレ企画公開講座

刑事司法制度の中の ソーシャルワーク

—合衆国におけるエビデンス・インフォームド・プラクティス—



講師 アンナ・シャヤット 博士

ジョージア大学

スクール・オブ・ソーシャルワーク（ディーン&プロフェッサー）

【博士からのメッセージ】

ソーシャルワーカーは、個人、家族、そして地域社会の人々の幸福と社会的正義を促進する責任を有しています。特に、刑事裁判に関与している人々は社会的に脆弱で、依存症、精神疾患、病気、貧困、差別の課題に直面します。合衆国のソーシャルワーカーが刑事司法制度の中にある個人をどのように支援しているかについてお話したいと考えています。

日時 **2019年8月24日(土)**

日本語通訳あり

10:00-12:00(受付9:30)

先着200名様

市民公開講座
のみ
参加費
無料

定員
会場

鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B 講義棟3513教室

(〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1) 近鉄千代崎駅より徒歩10分

※駐車場は完備されておりますが、この日は鈴鹿サーキットで「10時間耐久レース」が行われる日ですので、朝から道路が混みあう可能性が高いです。できる限り公共交通機関をご利用ください。

●申込方法

この講演のみ参加の方は7月31日(水)までに以下のメールアドレスまで①ご所属 ②お名前を記載しお知らせください。メール tomi-cak@suzuka-u.ac.jp (富田)

日本司法福祉学会 シンポジウム、分科会へご参加の方は別途申込み・参加費が必要です(裏面参照)

後援 鈴鹿医療科学大学
三重県社会福祉士会
三重県精神保健福祉士協会

主催 日本司法福祉学会鈴鹿大会実行委員会

※この講演会は公益財団法人三菱財団から研究助成を受けています。